

地域密着型特別養護老人ホーム エール二之宮

令和３年度 事業報告書

1 事業実施状況について

令和３年度運営方針と重点目標及び事業計画に基づき、入居者一人ひとりの人格を尊重し、従来の生活との継続が図られるよう個別の介護サービスを提供するとともに、自律的な日常生活を営むことができるよう支援しました。

継続的な新型コロナウイルスの感染予防対策を必要とした令和３年度において、施設での入居者の日常生活ができる限り穏やかなものとなるよう多職種で協議し、適切な地域密着型入居者生活介護サービスの提供に努めました。長引くコロナ禍において家族や地域との交流機会が減少するなか、様々なレクリエーションの企画・開催に取り組みました。また、会議や研修等は、感染状況に応じてインターネットや書面資料による開催等の手段も活用しました。

2 入居の状況について

別表１「入居状況報告」参照

- ・入居の状況
- ・入居者の状況
- ・入居及び優先入居申込受付の状況
- ・入居検討委員会及び優先入居検討委員会の開催状況

3 提供した介護サービス等について

(1) 食事

入居者の健康状況と嗜好に配慮し、季節感を感じられる献立を提供しました。食事時間は、それぞれの入居者の生活リズムに応じて、朝食(7時30分～9時30分)、昼食(11時30分～13時30分)、おやつ(14時～16時)、夕食(17時30分～19時30分)の間で提供しました。

(2) 入浴

入居者の希望と健康状態に応じて個浴・介助付個浴・機械浴による入浴を原則として週２回以上行いました。入浴時間は、午前(9時～11時)と午後(13時～15時)とし、事前に健康チェックを済ませたうえで、個浴・介助付個浴はマンツーマン、機械浴は２対１の入浴介助にて行いました。入浴後は、水分補給に注意しました。入浴拒否や体調不良により入浴ができない場合は、着替えと清拭を行いました。

(3) 排泄

入居者の尊厳を大切に考え、排泄の自立を支援しながら一人ひとりの状況に応じたトイレ誘導、オムツ交換などの排泄介助を行いました。

(4) 機能訓練

看護職員と介護職員の協働により、入居者の心身の状況に応じて日常生活機能の維持を目的とし

た機能訓練を個別に随時行いました。

(5) レクリエーション

個別・ユニット・フロア・施設のレクリエーションは、家族やボランティアの参加・協力を仰ぎながら、別表2「レクリエーション実施表」のとおり行いました。また、入居者の趣味や嗜好に合わせたカラオケ、折り紙、編み物、裁縫、読書等の個別のレクは随時行いました。

4 健康管理について

(1) 毎朝のバイタル(体温・呼吸・脈拍・血圧)チェック、毎月の体重測定など入居者の健康管理及び排尿・排便の状態確認、食事摂取量の確認など体調管理は、看護職員以下全職員が連携して行いました。

(2) 嘱託医師の往診は、毎月2回(第2・4週金曜日)行いました。また、血液(採血)検査は全入居者を対象に5月24日と11月16日の2回、胸部X線検査は3月24日に28名(空室1室)、インフルエンザワクチン接種(2回接種)は10月22日と12月17日に実施しました。急変時など医療機関の受診が必要な場合は、嘱託医師の往診または嘱託医の指示による協力医療機関等への救急搬送を行うとともに、必要に応じて家族同行による通院・受診を適宜行いました。新型コロナウイルスワクチン追加接種は2回目を6月18日、3回目を1月28日に実施しました。

(3) 職員の健康管理として、7月19日と3月10日に全職員の生活習慣病健診(腰痛検査含む)を山梨厚生病院検診車来設にて行いました。夜勤をする介護職員は、11月22日に山梨厚生病院検診車来設にて健診(腰痛検査含む)を行いました。また、インフルエンザワクチン接種(1回接種)は、全職員に11月12日(当日不可は予備日で対応)に行いました。新型コロナウイルスワクチンは2回目・3回目を各自6か月経過時点で接種しました。

5 感染症予防対策について

(1) 感染症予防対策委員会を毎月行いました。また、7月15日に感染症と食中毒のまん延防止のための職員研修①、11月18日に感染症と食中毒のまん延防止のための職員研修②を行いました。

(2) 職員は最新の感染対策ガイドラインやマニュアル等に沿って、同居家族等も含めた日々の健康状態の管理に努め、就業時には施設職員玄関にて検温と健康確認を徹底しました。家族や来訪者等にも感染予防の協力を求め、コロナウイルス感染症対策として面会禁止や、状況に応じてガラス越しでの面会、その際には、検温、手指消毒、マスクの着用をお願いしました。

(3) 施設内の清掃・消毒は、全職員が分担して毎日行いました。また、厨房内の清掃・消毒は業者に依頼し、1月20日に行いました。食中毒の発生事例はありませんでした。

(4) 新型コロナウイルスの施設内感染等について

①2/6、峡東保健所からエール二之宮2階フロアにおいて新型コロナウイルスの施設内クラスターが発生したと認定されました。

[主な経過]

2/2 介護職員 1 名、37.0℃・声枯れ・のどの違和感から厚生病院にて PCR 検査、同日 18 時、保健所から「陽性判定～公費による療養に入る、感染拡大防止に努めるように」との連絡(県の福祉施設従業者に対する PCR 検査で 2/1 採取した検体は陰性だった。本人、厚生 HP 受診後自宅療養～2/12 復職)がありました。以降、2 階は入居者・利用者はマスク着用にて原則居室対応、全職員は 75%アルコールによる手指等の消毒、不織布二重マスク・フェイスガード(ゴーグル)の着用の徹底、またそのうえで、介護にあたる介護・看護職員は、ガウン・ヘアキャップ・ビニール手袋の各防護具の装着も徹底し、サービス提供を継続しました。この際、1 階との往来及び他施設・事業所との行き来などもなくしました。2/3 朝、嘱託医の指示で 2 階全入居者・利用者(14 名)と 2 階介護職員及び専門職職員(13 名)に抗原定性検査を実施、ショート利用者 1 名と介護職員 1 名の 2 名が陽性だったため、その者に保健所が PCR 検査を実施、同日夕方、陽性確定(利用者は入院先が決まる 2/5 午後までそのまま当施設にてサービス提供*2/5 入院～2/12 退院～2/16 再入所*、職員は自宅療養～宿泊療養～2/14 復職)。その後、2/6 入居者 1 名・利用者 2 名、介護職員 3 名、2/8 介護職員 1 名、2/9 利用者 2 名が保健所の行った PCR 検査で陽性判定を受けました。この施設内クラスター感染による陽性者は、ショート利用者 5 名・特養入居者 1 名、介護職員計 6 名の合計 12 名でした。最初の陽性者発生以来、峡東保健所や嘱託医等の指導のもと、感染拡大対策の徹底やゾーニングによるケア対応等を実施しながらサービス提供を継続しました。陽性者は全員が軽症又は無症状で全員療養期間を終え帰設・復職しました。保健所からは 2/19 をもってクラスターの収束・営業再開の指示が出ました。

感染による陽性者の発生状況や施設の運営状況は、県・市には原則毎日報告するとともに、ショートステイの各利用者の担当ケアマネージャーやその他のサービス事業所、ご家族などにも随時状況等の報告をしました。法人として、施設として、この事例を通じて、感じたこと、知り得たことなどを貴重な教訓として、今後の感染対策等に反映していきたいと思います。

この事例以外は職員が陽性になったことはありませんでした。

6 安全管理について

事故防止・虐待防止・身体拘束廃止については、毎月委員会で検討しながらユニット及び多職種で連携し施設全体で取り組みました。介護事故発生に係る笛吹市への報告事例、虐待及び身体拘束の事例はありませんでした。

7 職員構成と職務分担について

常時、適正な職員体制をとり、それぞれの職員がその職務を果たしました。

8 委員会活動及び施設内・施設外研修について

職員による委員会活動の状況及び施設内研修と施設外研修の実施・受講の状況については、別表 3「委員会の活動状況及び施設内研修と施設外研修の実施・受講の状況 一覧表」のとおり行いました。また、施設外研修を受講した者は、その受講内容について職員間で共有を図るためユニット会議時等において振り返り研修を行いました。

9 会議について

(1) 運営会議・全体会議・リーダー会議・フロア会議・ユニット会議の各会議については、事業計画にて定められたとおり定期的に行われ、その内容を記録し保存するとともに、送りや回覧等にて職員間で共有しました。

(2) 苦情解決第三者委員会

施設入り口(事務室前)に窓口を設置、併せて申立ての方法と解決までの過程及び昨年度の苦情と結果を記した案内を掲示し、入居者や家族が意見・苦情を言いやすい環境づくりに心がけました。

以上の取組みの結果、特に苦情等はありませんでした。

また、法人の苦情解決規程に則り、受け付けた苦情は半期ごとに苦情解決第三者委員に報告するとともに、9月4日(土)に令和3年度苦情解決第三者委員会を書面により開催し、苦情解決結果の報告等を行いました。

(3) 入居検討委員会・優先入居検討委員会

別表1「入居状況報告」参照

(4) 運営推進会議

運営推進会議は以下のとおり行いました。また都度、議事録を作成し、笛吹市に報告しました。

日 時	内 容
第1回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・4～5月の介護サービス提供状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。
第2回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・6～7月の介護サービス提供状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。
第3回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・8～9月の介護サービス提供状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。
第4回 運営推進会議 11月30日(水) 10時45分～11時15分	・10～11月の介護サービス提供状況 ・その他
第5回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・12～1月の介護サービス提供状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見を

	いただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。
第 6 回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・2～3 月の介護サービス提供状況等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。

10 防災等訓練について

防災訓練を 9 月 15 日、夜間想定避難訓練を 12 月 8 日、昼間想定避難訓練を 5 月 20 日に、実施しました。また、防災施設自主点検は、定期的に毎月行いました。

地震防災応急計画に基づき、5 月 20 日及び 10 月 21 日に地震防災対策研修を行いました。

11 ボランティア・実習生の受入れ及び地域との連携・交流について

(1) ボランティア・実習生の受け入れ

昨年度と同様、コロナウイルス感染症対策のため、外部のボランティア・実習生の受け入れ等はありませんでした。施設内で下記内容の行事を行いました。

8/18	流しそうめん
9/15	敬老会
11/5	ユニット対抗運動会・おやつバイキング
1/7	絵馬祈願・奉納&お餅つき（美和神社神主の祈祷）

(2) 地域

令和 3 年度はコロナウイルス感染症対策のため、例年参加する地域の行事等も中止となり、交流の機会が減少しました。

1/9	二之宮区消防団 出初式 出席
毎月 29 日	二之宮 3 組組会議 ※コロナ感染拡大防止の観点で回覧のみ
非常災害時	二之宮区(周辺地域)一時避難場所として区と覚書を締結中

別表 1

入居状況報告

令和 4 年 3 月 31 日

1 入居の状況

月	延べ入居者数	退 居		入居	月間施設 利用日数	施 設 利用率
		件数	事由			
4	30	2	転院・死亡	3	738	84.8%
5	29	1	転院	1	845	94.0%
6	28	2	死亡	0	781	89.8%
7	29	0		3	866	96.3%
8	29	1	死亡	0	892	99.2%
9	31	3	死亡	3	828	95.2%
10	30	3	死亡	2	826	94.9%
11	29	1	死亡	2	816	93.8%
12	29	0		1	882	98.1%
1	29	1	死亡	0	828	92.1%
2	28	0		0	704	86.7%
3	30	2	死亡	2	827	92.0%
計	351	16		17	9, 833	92.9%

2 入居者の状況

(1) 出身市町村別分布表

市 町 村 名	男 性	女 性	計
御 坂 町	2 人	12 人	14 人
石 和 町	1 人	9 人	10 人
八 代 町	0 人	2 人	2 人
一 宮 町	0 人	0 人	0 人
境 川 町	0 人	2 人	2 人
春日居町	0 人	0 人	0 人
芦 川 町	0 人	1 人	1 人
計	3 人	26 人	29 人

(2) 年齢分布表

	男 性	女 性	計
65～69 歳	0 人	0 人	0 人
70～74 歳	0 人	0 人	0 人
75～79 歳	0 人	1 人	1 人

80～84 歳	1 人	1 人	2 人
85～89 歳	1 人	8 人	9 人
90～94 歳	1 人	13 人	14 人
95～99 歳	0 人	3 人	3 人
100～104 歳	0 人	0 人	0 人
105～109 歳	0 人	0 人	0 人
計	3 人	26 人	29 人
平均年齢	87.0 歳	90.4 歳	90.2 歳

	最高年齢	最低年齢
男 性	93 歳	81 歳
女 性	98 歳	80 歳

(3) 要介護度分布表

	男 性	女 性	計
要介護 1	0 人	0 人	0 人
要介護 2	0 人	0 人	0 人
要介護 3	0 人	13 人	13 人
要介護 4	2 人	7 人	9 人
要介護 5	1 人	6 人	7 人
計	3 人	26 人	29 人
平均要介護度	4.33	3.73	3.79

(4) 日常生活自立度分布表

	男 性	女 性	計
I	0 人	0 人	0 人
Ⅱa	0 人	0 人	0 人
Ⅱb	0 人	0 人	0 人
Ⅲa	3 人	13 人	16 人
Ⅲb	0 人	9 人	9 人
IV	0 人	3 人	3 人

M	0 人	1 人	1 人
計	3 人	26 人	29 人

3 入居及び優先入居申込受付の状況

一般入居申込受付	465 件
優先入居申込受付	43 件
合 計	508 件

4 入居検討委員会(優先入居検討委員会を含む)の開催状況

開 催 会 議 名	日 時
第 12 回入居検討委員会	3 月 26 日資料送付による承認 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 各委員の書面確認にて決定

短期入所生活介護 ショートステイ エール二之宮

令和３年度 事業報告書

1 事業実施状況

令和３年度運営方針と重点目標及び事業計画に基づき、入所者一人ひとりの人格を尊重し、在宅での生活との継続が図られるよう個別の介護サービスを提供するとともに、自律的な日常生活を営むことができるよう支援しました。

様々なレクリエーションを企画・開催するなど家族や地域との交流にも取り組みました。

継続的な新型コロナウイルスの感染予防対策を必要とした令和３年度において、在宅サービスのショートステイについては、利用者とその家族等の在宅での生活の状況や健康状態等を担当のケアマネージャー等と協議し、適切な短期入所生活介護サービスの提供に努めました。しかし、事業所内でのクラスター感染を防止する観点から、新規の利用者や同時に複数施設等で介護サービスを受ける利用者への提供については慎重に取り組みました。また、会議や研修等は、感染状況に応じてインターネットや書面資料による開催等の手段も活用しました。

2 入所の状況について

別表１「入所状況報告」参照

- ・入所の状況
- ・入所の申込受付及び契約の状況

3 提供した介護サービス等について

(1) 食事

入所者の健康状況と嗜好に配慮し、季節感を感じられる献立を提供しました。食事時間は、それぞれの入所者の生活リズムに応じて、朝食(7時30分～9時30分)、昼食(11時30分～13時30分)、おやつ(14時～16時)、夕食(17時30分～19時30分)の間で提供しました。

(2) 入浴

入所者の希望と健康状態を踏まえた上で、サービス計画に沿って個浴・介助付個浴・機械浴による入浴を行いました。入浴時間は、午前(9時～11時)と午後(13時～15時)とし、事前に健康チェックを済ませたうえで、個浴・介助付個浴はマンツーマン、機械浴は２対１の入浴介助にて行いました。入浴後は、水分補給に注意しました。入浴拒否や体調不良により入浴ができない場合は、着替えと清拭を行いました。

(3) 排泄

入所者の尊厳を大切に考え、排泄の自立を支援しながら一人ひとりの状況に応じたトイレ誘導、オムツ交換などの排泄介助を行いました。

(4) 機能訓練

看護職員と介護職員の協働により、入所者の心身の状況に応じて日常生活機能の維持を目的とし

た機能訓練を個別に随時行いました。

(5) レクリエーション

個別・ユニット・フロア・施設のレクリエーションは、家族やボランティアの参加・協力を仰ぎながら、別表2「レクリエーション実施表」のとおり行いました。また、入所者の趣味や嗜好に合わせたカラオケ、折り紙、編み物、裁縫、読書等の個別のレクは随時行いました。

4 健康管理について

(1) 毎朝のバイタル(体温・呼吸・脈拍・血圧)チェック、毎月の体重測定など入所者の健康管理及び排尿・排便の状態確認、食事摂取量の確認など体調管理は、看護職員以下全職員が連携して行いました。

(2) 嘱託医師の往診は、毎月2回(第2・4週金曜日)行いました。利用期間中、急変時など医療機関の受診が必要な場合は、嘱託医師の往診または嘱託医の指示による協力医療機関等への救急搬送を行うとともに、必要に応じて家族同行による通院・受診を適宜行いました。新型コロナウイルスワクチン追加接種(2回目・3回目)については重症化リスクの低減と感染拡大の防止の観点から接種を推奨し、ほとんどすべての利用者の協力を得ました。

(3) 職員の健康管理として、7月19日と3月10日に全職員の生活習慣病健診(腰痛検査含む)を山梨厚生病院検診車来設にて行いました。夜勤をする介護職員は、11月22日に山梨厚生病院検診車来設にて健診(腰痛検査含む)を行いました。また、インフルエンザワクチン接種(1回接種)は、全職員に11月12日(当日不可は予備日で対応)に行いました。新型コロナウイルスワクチンは2回目・3回目を各自6か月経過時点で接種しました。

5 感染症予防対策について

(1) 感染症予防対策委員会を毎月行いました。また、7月15日に感染症と食中毒のまん延防止のための職員研修①、11月18日に感染症と食中毒のまん延防止のための職員研修②を行いました。

(2) 職員は最新の感染対策ガイドラインやマニュアル等に沿って、同居家族等も含めた日々の健康状態の管理に努め、就業時には施設職員玄関にて検温と健康確認を徹底しました。家族や来訪者等にも感染予防の協力を求め、コロナウイルス感染症対策として面会禁止や、状況に応じてガラス越しでの面会、その際には、検温、手指消毒、マスクの着用をお願いしました。

(3) 施設内の清掃・消毒は、全職員が分担して毎日行いました。また、厨房内の清掃・消毒は業者に依頼し、1月20日に行いました。食中毒の発生事例はありませんでした。

(4) 新型コロナウイルスの施設内感染等について

①2/6、峡東保健所からエール二之宮2階フロアにおいて新型コロナウイルスの施設内クラスターが発生したと認定されました。

[主な経過]

2/2 介護職員 1 名、37.0℃・声枯れ・のどの違和感から厚生病院にて PCR 検査、同日 18 時、保健所から〔陽性判定～公費による療養に入る、感染拡大防止に努めるように〕との連絡(県の福祉施設従業者に対する PCR 検査で 2/1 採取した検体は陰性だった。本人、厚生 HP 受診後自宅療養～2/12 復職)がありました。以降、2 階は入居者・利用者はマスク着用にて原則居室対応、全職員は 75%アルコールによる手指等の消毒、不織布二重マスク・フェイスガード(ゴーグル)の着用の徹底、またそのうえで、介護にあたる介護・看護職員は、ガウン・ヘアキャップ・ビニール手袋の各防護具の装着も徹底し、サービス提供を継続しました。この際、1 階との往来及び他施設・事業所との行き来などもなくしました。2/3 朝、嘱託医の指示で 2 階全入居者・利用者(14 名)と 2 階介護職員及び専門職職員(13 名)に抗原定性検査を実施、ショート利用者 1 名と介護職員 1 名の 2 名が陽性だったため、その者に保健所が PCR 検査を実施、同日夕方、陽性確定(利用者は入院先が決まる 2/5 午後までそのまま当施設にてサービス提供*2/5 入院～2/12 退院～2/16 再入所*、職員は自宅療養～宿泊療養～2/14 復職)。その後、2/6 入居者 1 名・利用者 2 名、介護職員 3 名、2/8 介護職員 1 名、2/9 利用者 2 名が保健所の行った PCR 検査で陽性判定を受けました。この施設内クラスター感染による陽性者は、ショート利用者 5 名・特養入居者 1 名、介護職員計 6 名の合計 12 名でした。最初の陽性者発生以来、峡東保健所や嘱託医等の指導のもと、感染拡大対策の徹底やゾーニングによるケア対応等を実施しながらサービス提供を継続しました。陽性者は全員が軽症又は無症状で全員療養期間を終え帰設・復職しました。保健所からは 2/19 をもってクラスターの収束・営業再開の指示が出ました。

感染による陽性者の発生状況や施設の運営状況は、県・市には原則毎日報告するとともに、ショートステイの各利用者の担当ケアマネージャーやその他のサービス事業所、ご家族などにも随時状況等の報告をしました。法人として、施設として、この事例を通じて、感じたこと、知り得たことなどを貴重な教訓として、今後の感染対策等に反映していきたいと思います。

この事例以外は職員が陽性になったことはありませんでした。

6 安全管理について

事故防止・虐待防止・身体拘束廃止については、毎月委員会で検討しながらユニット及び多職種で連携し施設全体で取り組みました。介護事故発生に係る保険者への報告事例、虐待・身体拘束の事例はありませんでした。

7 職員構成と職務分担について

常時、適正な職員体制をとり、それぞれの職員がその職務を果たしました。

8 委員会活動及び施設内・施設外研修について

職員による委員会活動の状況及び施設内研修と施設外研修の実施・受講の状況については、別表 3「委員会の活動状況及び施設内研修と施設外研修の実施・受講の状況 一覧表」のとおり行いました。また、施設外研修を受講した者は、その受講内容について職員間で共有を図るためユニット会議時等において振り返り研修を行いました。

9 会議について

(1)運営会議・全体会議・リーダー会議・フロア会議・ユニット会議の各会議については、事業計画

にて定められたとおり定期的開催し、その内容を記録し保存するとともに、送りや回覧等にて職員間で共有しました。

(2) 苦情解決第三者委員会

施設入り口(事務室前)に窓口を設置、併せて申立ての方法と解決までの過程及び昨年度の苦情と結果を記した案内を掲示し、入所者や家族が意見・苦情を言いやすい環境づくりに心がけました。

以上の取組みの結果、特に苦情等はありませんでした。

また、法人の苦情解決規程に則り、受け付けた苦情は半期ごとに苦情解決第三者委員に報告するとともに、9月4日(土)に令和3年度苦情解決第三者委員会を書面により開催し、苦情解決結果の報告等をしました。

10 防災等訓練について

防災訓練を9月15日、夜間想定避難訓練を12月8日、昼間想定避難訓練を5月20日に、実施しました。また、防災施設自主点検は、定期的に毎月行いました。

地震防災応急計画に基づき、5月20日及び10月21日に地震防災対策研修を行いました。

11 ボランティア・実習生の受入れ及び地域との連携・交流について

(1) ボランティア・実習生の受け入れ

昨年度と同様、コロナウイルス感染症対策のため、外部のボランティア・実習生の受け入れ等はありませんでした。施設内で下記内容の行事を行いました。

8/18	流しそうめん
9/15	敬老会
11/5	ユニット対抗運動会・おやつバイキング
1/7	絵馬祈願・奉納&お餅つき (美和神社神主の祈祷)

(2) 地域

令和3年度は、コロナウイルス感染症対策のため、例年参加する地域の行事等も中止となり、交流の機会が減少しました。

1/9	二之宮区消防団 出初式 出席
毎月29日	二之宮3組組会議 ※コロナ感染拡大防止の観点で回覧のみ
非常災害時	二之宮区(周辺地域)一時避難場所として区と覚書を締結中

別表 1

令和 3 年 度
入 所 状 況 報 告

令和 4 年 3 月 31 日

短期入所生活介護
ショートステイ エール二之宮

1 入所の状況

月	延べ入所者数	月間施設 利用泊数	施 設 利用率
4	11	197	73.0%
5	11	258	92.5%
6	13	201	74.4%
7	14	204	73.1%
8	14	238	85.3%
9	13	211	78.1%
10	12	229	84.8%
11	13	211	78.1%
12	16	240	86.0%
1	14	209	74.9%
2	8	110	43.7%
3	13	211	75.6%
計	152	2,519	76.7%

2 入所の申込受付及び契約の状況

入所申込受付	230 件
利用契約件数	180 件

別表 2

令和 3 年度 レクレーション実施表(施設全体及び各フロア・ユニット)

日 付	レクレーション名	内 容
4 月 10 日	おやつレク (D ユニット)	季節の抹茶ケーキを作り、おいしくいただき季節を感じていただく。
4 月 13 日	食事レク (D ユニット)	利用者からのリクエストのいなり寿司を作り、昼食でおいしくいただく。
4 月 15 日	食事レク (C ユニット)	入居者からのリクエストのほうとうを作り、昼食でおいしくいただく。
4 月 21 日	おやつレク (B ユニット)	いちご大福を作り、みんなでおいしくいただく。
4 月 25 日	お誕生日会 (A ユニット)	ロールケーキを作り、誕生日にケーキでお祝い。
4 月 30 日	BBQ レク (C ユニット)	昼食に BBQ を行い、賑やかにおいしくいただく。
5 月 6 日	ランチレク (C ユニット)	入居者からのリクエストのファーストフードをおいしくいただく。
5 月 7 日	食事レク (D ユニット)	利用者からのリクエストのほうとうを作り、昼食でおいしくいただく。
5 月 19 日	おやつレク (D ユニット)	レアチーズケーキを作り、みんなでおいしくいただく。
5 月 26 日	お誕生日会 (C ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
5 月 27 日	おやつレク (A・B ユニット)	たこ焼きパーティーを行い楽しんでいただく。
6 月 10 日	お誕生日会 (C ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
6 月 13 日	おやつレク (A ユニット)	米粉を使ってお団子を作り、みんなでおいしくいただく。

6 月 14 日	おやつレク (D ユニット)	パフェを作り、みんなでおいしくいただく。
6 月 25 日	おやつレク (B ユニット)	フレンチトーストを作り、みんなでおいしくいただく。
6 月 28 日	おやつレク (C ユニット)	フルーツポンチを作り、みんなでおいしくいただく。
6 月 29 日	BBQ レク (D ユニット)	昼食に BBQ を行い、賑やかにおいしくいただく。
7 月 6-7 日	七夕レク (A・D ユニット)	願いを込めた短冊を飾り付け、七夕を祝う。
7 月 7 日	ミニ夏祭りレク (C ユニット)	屋台にあるような食べ物をいただき、楽しんでいただく。
7 月 11 日	おやつレク (D ユニット)	ご家族様より差し入れていただいたジャガイモを使い、イモ餅を作りおいしくいただく。
7 月 11 日	おやつレク (B ユニット)	フルーツサンドを作り、みんなでおいしくいただく。
7 月 18 日	お誕生日会 (D ユニット)	みんなでバナナケーキを作り、誕生日をお祝い。
7 月 20 日	お誕生日会 (C ユニット)	対象者からのリクエストの焼きそばを作り、おいしくいただく。
7 月 27 日	おやつレク (A ユニット)	アイスクリームにトッピングを行い、おいしくいただく。
8 月 9 日	おやつレク (C ユニット)	かき氷を作り、みんなでおいしくいただき季節を感じていただく。
8 月 12 日	おやつレク (D ユニット)	アイスを使いパフェを作り、みんなでおいしくいただく。
8 月 18 日	流しそうめん (全ユニット)	昼食に納涼流しそうめん。みんなにぎやかに楽しむ。
8 月 19 日	おやつレク (C ユニット)	フルーツサンドを作り、みんなでおいしくいただく。

8 月 21 日	お誕生日会 (D ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
8 月 28 日	食事レク (A ユニット)	入居者からのリクエストの焼きそばを作り、昼食でおいしくいただく。
8 月 30 日	おやつレク (B ユニット)	たい焼きを作り、みんなでおいしくいただく。
9 月 1 日	おやつレク (C ユニット)	マンゴームースに好みのトッピングを行い、みんなでおいしくいただく。
9 月 12 日	お誕生日会 (D ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
9 月 12 日	おやつレク (C ユニット)	季節の果物の梨を使ったおやつを作り、みんなでおいしくいただく。
9 月 18 日	おやつレク (B ユニット)	大学芋を作り、みんなでおいしくいただき季節を感じていただく。
9 月 19 日	おやつレク (D ユニット)	利用者からのリクエストのパンケーキを作り、みんなでおいしくいただく。
9 月 22 日	敬老会 (全ユニット)	ご長寿をお祝いして敬老会を開催。
9 月 27 日	おやつレク (A ユニット)	フルーツケーキを作り、みんなでおいしくいただく。
10 月 1 日	おやつレク (C ユニット)	ホットケーキを作り、みんなでおいしくいただく。
10 月 9 日	お誕生日会 (B ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
10 月 16 日	おやつレク (D ユニット)	季節の果物を使ったフルーツサンドを作り、みんなでおいしくいただく。
10 月 22 日	おやつレク (C ユニット)	モンブランを作り、みんなでおいしくいただき季節を感じていただく。
10 月 22 日	食事レク (D ユニット)	ちらし寿司を作り、昼食でおいしくいただく。

10 月 28 日	おやつレク (A ユニット)	ハロウィンにちなんでピザを作り、みんなでおいしくいただく。
11 月 5 日	二之宮運動会 (全ユニット)	秋祭りの代替行事として駐車場で全員参加の運動会を行う。
11 月 9 日	おやつレク (D ユニット)	サツマイモどら焼きを作り、みんなでおいしくいただく。
11 月 10-25 日	壁画レク (C ユニット)	落ち葉等を使い、みんなで季節の壁画を制作する。
11 月 19 日	運動会お疲れ様会 (B ユニット)	ケーキに季節の果物を乗せ、みんなでおいしくいただく。
11 月 23 日	おやつレク (A ユニット)	入居者からのリクエストのお好み焼きを作り、みんなでおいしくいただく。
11 月 23 日	お誕生日会 (C ユニット)	対象者からのリクエストのチョコバナナパフェを作り、おいしくいただく。
11 月 29 日	運動会祝賀会 (D ユニット)	景品のアイスでパフェを作り、祝賀会を行う。
11 月 30 日	運動介祝賀会 (A ユニット)	景品で入居者のリクエストのラーメンを作り、祝賀会を行う。
12 月 1 日	クリスマス飾りつけ (A・D ユニット)	ツリーにみんなでクリスマスの飾りつけを行っていただく。
12 月 3 日	おやつレク (C ユニット)	サツマイモを使ってパンケーキを作り、みんなでおいしくいただく。
12 月 5 日	お誕生日会 (D ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
12 月 12 日	お誕生日会 (A ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
12 月 21 日	クリスマス会 (C ユニット)	クリスマス行事を行い、季節を感じていただく。
12 月 23 日	クリスマス会 (D ユニット)	クリスマス行事を行い、季節を感じていただく。

12月25日	クリスマス会 (A・Bユニット)	クリスマス行事を行い、季節を感じていただく。
12月28日	食事レク (Aユニット)	入居者からのリクエストのお寿司を昼食でおいしくいただく。
1月1日	食事レク (Bユニット)	入居者からのリクエストのお寿司を昼食でおいしくいただく。
1月7日	絵馬・正月行事 (全ユニット)	みんなで絵馬に願い事を書き、美和神社神主にご祈祷していただく。併せて餅つきも行う。
1月13日	お誕生日会 (Dユニット)	対象者からのリクエストのフレンチトーストを作り、おいしくいただく。
1月16日	ドライブレク (Aユニット)	入居者からの希望に応え、ドライブに出かける。
1月21日	お誕生日会 (Cユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
1月21日	おやつレク (Aユニット)	ガトーショコラを作り、みんなでおいしくいただく。
1月26日	おやつレク (Cユニット)	入居者からのリクエストのハンバーガーをみんなでおいしくいただく。
1月30日	おやつレク (Dユニット)	利用者の好きな麩菓子を使いケーキを作り、みんなでおいしくいただく。
2月20日	おやつレク (Bユニット)	入居者からのリクエストの手巻きを作り、みんなでおいしくいただく。
2月25日	お誕生日会 (Dユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
2月27日	おやつレク (Dユニット)	利用者からのリクエストのチョコを作り、みんなでおいしくいただく。
2月27日	お誕生日会 (Aユニット)	対象者からのリクエストのケーキバイキングを行い、おいしくいただく。
2月28日	お菓子バイキング (Cユニット)	入居者からのリクエストでお菓子バイキングを行い、楽しんでいただく。

3 月 1 日	工作レク (C ユニット)	入居者と一緒に紙コップを使ってひな人形を製作。
3 月 13 日	お誕生日会 (D ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
3 月 16 日	お誕生日会 (C ユニット)	対象者からのリクエストのお好み焼きを作り、おいしくいただく。
3 月 20 日	お誕生日会 (B ユニット)	誕生日にケーキでお祝い。
3 月 26 日	おやつレク (A ユニット)	季節の果物を使ってパフェを作り、みんなでおいしくいただく。
3 月 27 日	おやつレク (D ユニット)	牡丹餅を作り、みんなでおいしくいただき季節を感じていただく。

別表 3

委員会の活動状況及び施設内研修と施設外研修の実施・受講の状況 一覧表

日 時	内 容		参加職員(人数)
4 月 16 日(金)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5 名)
4 月 20 日(火)14:00～	感染症防止研修	施設内	感染症防止委員(5 名)
4 月 22 日(木)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5 名)
4 月 28 日(水)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5 名)
5 月 18 日(火)14:00～	感染症防止研修	施設内	感染症防止委員(5 名)
5 月 19 日(水)19:00～	消防・非常災害時対策研修	施設内	講師：生活相談員 出席：介護職員他(18 名)
5 月 21 日(金)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5 名)
5 月 25 日(火)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5 名)
5 月 27 日(木)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5 名)
6 月 15 日(火)14:00～	感染症防止研修	施設内	感染症防止委員(5 名)
6 月 18 日(金)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5 名)
6 月 21 日(月)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5 名)
6 月 24 日(木)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5 名)
7 月 2 日(金)9:00～	認知症介護実践者研修	施設外	介護職員 (1 名)
7 月 15 日(木)19:00～	感染症① 食中毒予防① 演習①	施設内	講師：主任看護師 出席：介護職員他(18 名)
7 月 15 日(木)19:00～	介護 看護 24 時間連携	施設内	講師：管理栄養士 出席：介護職員他(18 名)
7 月 16 日(金)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5 名)
7 月 20 日(火)9:00～	認知症介護実践者研修	施設外	介護職員 (1 名)
7 月 20 日(火)14:00～	感染症防止研修	施設内	感染症防止委員(5 名)
7 月 21 日(水)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5 名)
7 月 27 日(火)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5 名)
8 月 16 日(月)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5 名)

8月18日(水)9:00～	認知症介護実践者研修	施設外	介護職員(1名)
8月20日(金)14:00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
8月25日(水)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5名)
8月27日(金)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5名)
9月16日(木)14:00～	排泄研修	施設内	排泄委員(5名)
9月17日(金)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
9月21日(火)14:00～	感染症防止研修	施設内	感染症防止委員(5名)
9月22日(火)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5名)
9月27日(月)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5名)
10月15日(金)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
10月15日(金)18:00～	看護師職能研修(リモート)	施設内	看護職員(2名)
10月19日(火)14:00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
10月27日(木)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5名)
10月28日(金)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5名)
11月12日(金)13:30～	認知症介護実践研修	施設外	介護職員(1名)
11月16日(火)14:00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
11月19日(金)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
11月25日(木)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5名)
11月29日(月)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5名)
12月16日(木)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
12月21日(火)14:00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
12月23日(木)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5名)
12月27日(月)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5名)
1月18日(火)14:00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
1月21日(金)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
1月26日(水)14:00～	排泄委員会	施設内	排泄委員(5名)
1月27日(木)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(5名)
2月14日(月) 書面開催	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)

2 月 18 日 (金) 書面開催	事故防止委員会	施設内	事故防止委員 (5 名)
2 月 24 日 (木) 14 : 00～	給食委員会	施設内	給食委員 (5 名)
2 月 25 日 (金) 書面開催	排泄委員会	施設内	排泄委員 (5 名)
3 月 15 日 (火) 14 : 00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員 (5 名)
3 月 18 日 (金) 14 : 00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員 (5 名)
3 月 24 日 (木) 14 : 00～	給食委員会	施設内	給食委員 (5 名)
3 月 26 日 (土) 書面開催	入居検討委員会	施設内	施設長、嘱託医ほか
3 月 28 日 (月) 14 : 00～	排泄委員会	施設内	排泄委員 (5 名)

エール二之宮居宅介護支援事業所

令和３年度 事業報告書

1 事業実施状況について

令和３年度運営方針と重点目標及び事業計画に基づき、介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊重」、「自分らしい生活の継続」、「自立支援」を基本に、「敬愛と尊厳」という法人理念のもと、常にご利用者の意向を踏まえたうえで、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、そのプランに沿った適切なサービスが提供されるよう多種多様な事業者と検討・調整しながら、コロナ禍においてご利用者が不安な気持ちを抱くことなく、自立した在宅での生活を継続していけるよう支援しました。また、担当者会議や研修等は、状況に応じてインターネットや書面資料による開催等の手段も活用しました。

2 給付管理の状況

月	介護給付 (件)	前年度比 (%)	予防給付 (件)	前年度比 (%)	平均介護度
4	28	103.7	5	38.4	1.9
5	26	96.2	6	150.0	1.9
6	27	103.8	11	275.0	1.9
7	27	100.0	11	275.0	1.9
8	28	100.0	11	366.6	1.9
9	29	100.0	11	366.6	1.9
10	28	100.0	11	550.0	1.9
11	27	96.4	11	550.0	1.9
12	28	96.5	10	500.0	1.8
1	28	96.5	7	233.3	1.9
2	32	114.2	5	125.0	2.0
3	32	123.0	4	100.0	1.9
計	340	102.4	103	214.5	1.9

3 職員研修等の状況

日 時	内 容	備 考
4 月 23 日	介護認定調査員新規研修 「介護保険法の概要、要介護認定等に関する基本的な考え方、認知調査の実施方法等」	敷島総合文化会館
9 月 14 日	事例検討会 「高齢、生活保護受給者、言葉が通じない、文化の違いがある要支援者の生活支援方法について」	市役所福祉センター
9 月 30 日	笛吹市地域ケア会議 「糖尿病があるが薬や食事の管理ができず体調の悪化が心配される独居女性の支援」	市役所福祉センター
12 月 20 日	笛吹市地域ケア会議 「身寄りのない人への支援の課題」	オンライン会議
3 月 2 日	笛吹市地域ケア会議 「障害者総合支援法から介護保険法への移行について」	オンライン会議
3 月 7 日	笛吹市社会福祉協議会居宅介護支援事業所研修「アセスメント研修」	オンライン研修
3 月 7 日	事例検討会 「高齢者ではない方の支援の難しさ」	オンライン会議
3 月 16 日	笛吹市介護支援専門員等研修会 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス」	オンライン研修

4 事故集計報告 事故発生件数 0 件

5 苦情相談報告 苦情・相談件数 0 件

6 その他

新型コロナウイルスの感染予防対策として、従事する職員は最新の感染対策ガイドラインやマニュアル等に沿って、同居家族等も含めた日々の健康状態の管理に努め、就業時には施設職員玄関にて検温と手指消毒、不織布マスクの着用、健康状態の確認等を徹底しました。また、利用者やその家族等にも感染予防の注意喚起等を行い、感染拡大の防止に努めた結果、陽性者発生事例はありませんでした。

ライフサポートハウスエール二之宮

令和3年度 事業報告書

1 事業実施状況

法人理念及び経営方針並びに令和3年度事業所基本理念及び基本方針に基づき、登録した利用者が、可能な限り自立した日常生活を継続して営むことができるよう、住み慣れた地域での家庭的な環境と地域住民等との交流機会を持ちながら、通いサービスを中心に訪問サービスと宿泊サービスを柔軟に組み合わせた小規模多機能型居宅介護サービスを提供し、利用者の心身機能の維持回復と、生活機能の維持向上につながるよう支援しました。

継続的な新型コロナウイルスの感染予防対策を必要とした令和3年度において、利用者の在宅生活ができる限り穏やかなものとなるよう多職種で協議し、適切な小規模多機能型居宅介護サービスの提供に努めました。長引くコロナ禍において家族や地域との交流機会が減少するなか、様々なレクリエーションの企画・開催に取り組みました。また、会議や研修等は、感染状況に応じてインターネットや書面資料による開催等の手段も活用しました。

2 利用の状況について

別表1「利用状況報告」及び 別表2「レクリエーション実施表」 参照

3 提供した介護サービス等について

(1) 居宅サービス計画について

利用者の状況に合わせた居宅サービスを提供するために、アセスメントやサービス担当者会議等を行い、居宅サービス計画を作成し、その内容や評価結果を書面に記載して利用者に説明の上、交付しました。

(2) (介護予防) 小規模多機能型居宅介護計画について

(介護予防) 小規模多機能型居宅介護サービスの提供開始時に、利用者が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえたうえで、他の介護従業者との協議しながら、通いサービス、訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせた(介護予防) 小規模多機能型居宅介護計画を作成し、説明・同意を得て交付しました。さらに作成後は、実施状況の把握を行い、必要に応じて(介護予防) 小規模多機能型居宅介護計画の変更を行いました。

(3) (介護予防) 小規模多機能型居宅介護について

別表1 利用状況報告「4 サービス別提供状況」のとおり、それぞれのサービスを提供しました。

4 職員構成と職務分担について

常時、適正な職員体制をとり、それぞれの職員がその職務を果たしました。

5 会議と委員会について

会議及び委員会は、事業計画にて定められたとおり定期的に行われ、その内容を記録し保存するとともに、送りや回覧等にて職員間で共有しました。

6 研修について

(1) 施設内研修

別表3「令和3年度施設内研修実施一覧表」のとおり、全職員参加の施設内研修を職員会議時に実施しました。

(2) 参加、出席した主な施設外研修

研 修 日	研 修 名	出 席 者
7/14	高齢者施設等における感染者発生時の対応(web)	管理者
8/18	予防給付ケアマネジメント研修(web)	計画作成担当者
12/9	令和3年度高齢者権利擁護等事例等報告検討会(web)	管理者

7 衛生管理について

- (1) 7月27日、11月17日に感染症・食中毒の予防とまん延防止のための職員研修を行いました。
- (2) 利用者・家族にはインフルエンザと新型コロナウイルスのワクチン接種について重症化リスクの低減と感染拡大の防止の観点から接種を推奨し、ほとんどすべての利用者の協力を得ました。
- (3) 職員は最新の感染対策ガイドラインやマニュアル等に沿って、同居家族等も含めた日々の健康状態の管理に努め、就業時には施設職員玄関にて検温と健康確認を徹底しました。家族や来訪者等にも感染予防の協力を求め、検温・手洗い・うがい・手指消毒の実施、マスクの着用をお願いしました。職員の新型コロナウイルスワクチンは2回目・3回目を各自6か月経過時点で接種しました。
- (4) 事業所内の清掃・消毒は、全職員が分担して毎日行いました。
以上の対策により、感染症のまん延及び食中毒の発生はありませんでした。

8 安全管理について

事故防止・虐待防止・身体拘束廃止については、会議や委員会等で検討しながら多職種で連携し事業所全体で取り組みました。介護事故発生に係る保険者への報告事例は1件、虐待・身体拘束の事例はありませんでした。

9 防災対策について

防災訓練を9月15日、夜間想定避難訓練を12月8日、昼間想定避難訓練を5月20日に、それぞれ隣接特養と協同で実施しました。また、防災事業所自主点検は、定期的に毎月行いました。
消防計画及び非常災害対策計画に基づき、5月19日と11月17日に地震防災対策研修を行いました。

した。

10 地域との連携・交流等について

(1) ボランティア

コロナウイルス感染症対策のため、実習生の受け入れ等はありませんでした。

(2) 地域

コロナウイルス感染症対策のため、例年参加する地域の行事等も中止となり、交流の機会が減少しました。

1/9	二之宮区消防団 出初式 出席
毎月 29 日	二之宮 3 組組会議 ※コロナ感染拡大防止の観点で回覧のみ
非常災害時	二之宮区(周辺地域)一時避難場所として区と覚書を締結中

(3) 運営推進会議

運営推進会議は以下のとおり行いました。また都度、議事録を作成し、笛吹市に報告しました。

日 時	内 容
第 1 回 5 月開催分 書面開催	・ 4～5 月の介護サービス提供状況 ・ その他
第 2 回 7 月開催分 書面開催	・ 6～7 月の介護サービス提供状況 ・ その他
第 3 回 9 月開催分 書面開催	・ 8～9 月の介護サービス提供状況 ・ その他
第 4 回 11 月開催分 11 月 30 日(水)	・ 10～11 月の介護サービス提供状況 ・ その他
第 5 回 1 月開催分 書面開催	・ 12～1 月の介護サービス提供状況 ・ 令和 2 年度サービス評価 総括表について ・ その他
第 6 回 3 月開催分 書面開催	・ 2～3 月の介護サービス提供状況等 ・ その他
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第 4 回以外は書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。	

11 相談及び苦情対応について

事業所入り口に窓口を設置、併せて申立ての方法と解決までの過程を記した案内を掲示し、利用者や家族が意見・苦情を言いやすい環境づくりに心がけました。また、家族に向けて毎月発行して

いる「エール通信」において、寄せられる意見・苦情が施設の運営や提供する介護サービスの質の向上につながる旨お伝えし、協力を求めました。

以上のように苦情や意見を募った結果、令和３年度の苦情受付はありませんでした。

また、法人の苦情解決規程に則り、受け付けた苦情は半期ごとに苦情解決第三者委員に報告するとともに、９月４日(土)に令和３年度苦情解決第三者委員会を開催し、苦情解決結果の報告等を行いました。

12 個人情報

個人情報保護に関する法令その他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めました。また、個人情報の利用目的を特定し、適正に取り扱いました。

13 広報活動

家族や笛吹市など関係各機関に向けてエール通信やホームページを使い、事業所や利用者の状況を随時更新しながら公開しました。

14 事業所設備の維持管理

定期的に清掃と保守点検等を行い、事業所及び設備の適切な維持管理に努めました。

15 サービス自己評価

令和元年度サービス評価は、職員会議等で検討し、令和３年度第１回から第５回の運営推進会議で検討・報告、笛吹市に提出しました。(別表４「サービス自己評価総括表」参照)

令和３年度サービス評価は、令和４年度に検討し報告・提出します。

別表 1

令和 3 年度
利 用 状 況 報 告

令和 4 年 3 月 31 日

ライフサポートハウスエールニ之宮

1. 区分別登録状況

	区分										合計	前年度比
	申請中	要支援			要介護							
		1	2	小計	1	2	3	4	5	小計		
4月	0	1	0	1	1	2	4	3	0	10	11	78.6%
5月	0	1	0	1	1	1	4	3	0	9	10	83.3%
6月	0	1	0	1	1	3	4	3	0	11	12	109.1%
7月	0	1	0	1	3	3	3	3	0	12	13	108.3%
8月	0	1	0	1	3	3	3	3	0	12	13	108.3%
9月	0	1	0	1	3	3	3	3	0	12	13	108.3%
10月	0	1	0	1	3	3	3	2	0	11	12	100.0%
11月	0	1	0	1	3	3	3	2	0	11	12	100.0%
12月	0	1	0	1	3	2	4	2	0	11	12	100.0%
1月	0	1	1	2	3	1	4	2	0	10	12	109.1%
2月	0	1	1	2	2	1	3	2	1	9	11	91.7%
3月	0	1	1	2	2	1	3	2	1	9	11	91.7%
計	0	12	3	15	28	26	41	30	2	127	142	98.6%

2. 日常生活自立度別登録状況

	申請中	自立	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	計
4月	0	1	1	2	1	5	1	0	0	11
5月	0	1	0	2	1	5	1	0	0	10
6月	0	2	0	3	1	5	1	0	0	12
7月	0	2	0	3	2	4	2	0	0	13
8月	0	2	0	3	2	4	2	0	0	13
9月	0	2	0	3	1	5	2	0	0	13
10月	0	2	0	3	1	4	2	0	0	12
11月	0	2	0	2	1	5	2	0	0	12
12月	0	1	1	2	1	5	2	0	0	12
1月	0	2	1	2	1	5	1	0	0	12
2月	0	2	0	2	0	6	1	0	0	11
3月	0	2	0	2	0	6	1	0	0	11
計	0	21	3	29	12	59	18	0	0	142

3. 地域別登録状況

	御坂	石和	八代	一宮	境川	春日居	芦川	計
4月	5	3	2	1	0	0	0	11
5月	5	3	1	1	0	0	0	10
6月	6	4	1	1	0	0	0	12
7月	6	4	2	1	0	0	0	13
8月	6	4	2	1	0	0	0	13
9月	6	4	2	1	0	0	0	13
10月	6	4	1	1	0	0	0	12
11月	6	4	1	1	0	0	0	12
12月	7	3	1	1	0	0	0	12
1月	7	2	2	1	0	0	0	12
2月	6	2	2	1	0	0	0	11
3月	6	2	2	1	0	0	0	11
計	72	39	19	12	0	0	0	142

4. サービス別提供状況

	通い総数	訪問総数	泊まり総数	合計
4月	229	75	125	429
5月	230	74	127	431
6月	261	77	134	472
7月	288	91	142	521
8月	284	92	142	518
9月	262	95	138	495
10月	259	114	129	502
11月	238	90	113	441
12月	243	70	133	446
1月	220	43	143	406
2月	204	40	127	371
3月	219	42	137	398
計	2,937	903	1,590	5,430

別表 2

令和 3 年度 レクレーション実施表

日 付	レクレーション名	内 容
4 月 22 日	食事レク	お好み焼きを作りおいしくいただく。
5 月 1 日	誕生日会	5 月誕生日のご利用者をお祝い。
5 月 8 日	母の日レク	母の日にちなみ職員手作りのカーネーションをプレゼント。
5 月 14～22 日	バラ見学	みさかの湯にバラ見学にお出掛け。
6 月 18 日	父の日レク	父の日にちなみ職員の手作りプレゼントでお祝い。
6 月 24 日	誕生日会	6 月誕生日のご利用者をお祝い。
7 月 9 日	七夕レク	七夕にちなんで笹飾りを製作し記念撮影、おやつ作りも行う。
7 月 27 日	誕生日会	7 月誕生日のご利用者をお祝い。
8 月 17 日	夏祭り	賑やかにゲームをしたり、焼きそばや綿菓子をおいしくいただく。
8 月 26 日	誕生日会	8 月誕生日のご利用者をお祝い。
9 月 11 日	誕生日会	9 月誕生日のご利用者をお祝い。
9 月 18 日	敬老会	敬老の日にちなみ健康と長寿をお祝い。
9 月 21 日	おはぎ作り	おはぎを作りおいしくいただく。
10 月 19 日	秋の味覚レク	秋の味覚サツマイモを使ったおやつを作りおいしくいただく。
10 月 29 日	十三夜	お団子を作りおいしくいただく。
11 月 6 日他	紅葉レク	紅葉が見事なふるさと公園にドライブレクに出掛ける。
11 月 23 日	おやつレク	明石焼きを作りおいしくいただく。
12 月 7 日	誕生日会	12 月誕生日のご利用者をお祝い。
12 月 21 日	クリスマス会	ケーキや歌、ゲームなどで賑やかにクリスマス会、職員扮するサンタクロースからプレゼントも贈呈。
1 月 11 日	新年会	お正月飾りの工作やビンゴ大会で楽しい新年会。
1 月 28 日	誕生日会	1 月誕生日のご利用者をお祝い。
2 月 3 日	節分	職員扮する鬼めがけて邪気払い、無病息災を願う。
2 月 18 日	誕生日会	2 月誕生日のご利用者をお祝い。
3 月 29 日	誕生日会	3 月誕生日のご利用者をお祝い。

別表3

令和3年度 施設内研修実施一覧表

実 施 日	時 間	研 修 項 目	研 修 担 当
4/21	職員会議時	理念、基本方針について	管理者
		接遇の重要性について	管理者
5/19	職員会議時	利用者の尊厳に係わる支援方法について	管理者
		消防計画、非常災害対策計画について	防火管理者
6/16	職員会議時	脱水予防について	看護担当
		認知症及び認知症ケアについて	介護リーダー
7/27	職員会議時	アセスメント、モニタリングについて	計画作成担当者
		感染症及び食中毒の予防とまん延防止について	看護担当
8/18	職員会議時	事故防止、ヒヤリハット及び事故発生時等緊急時の対応・リスクマネジメントについて	事故防止委員
		食事介助、嚥下、口腔ケアについて	看護担当
9/16	職員会議時	コミュニケーション能力について	介護リーダー
10/20	職員会議時	薬の効能と与薬方法について	看護担当
11/17	職員会議時	消防計画、非常災害対策計画について	防火管理者
		感染症及び食中毒の予防とまん延防止について	看護担当
		メンタルヘルスについて	看護担当
12/15	職員会議時	虐待防止、高齢者権利擁護、リスクマネジメントについて	管理者
		個人情報保護の取組みについて	看護担当
		入浴介助について	介護リーダー
1/19	職員会議時	腰痛予防、ボディメカニクスについて	介護リーダー
2/24	職員会議時	身体的拘束等排除への取組みについて	管理者
		高齢者に多い疾病の理解について	看護担当
3/24	職員会議時	排泄介助技術について	介護リーダー

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆サービス評価

総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画	接遇の研修は継続し行い、職員全体の質の向上を図る。 個人ファイル確認する時間を設け、追記する事があれば誰でも赤ペンで追記する。
前回の改善計画に対する取組み結果	接遇については職員全体でのばらつきがまだ見られる。 個人ファイルに赤ペン追記はなかったが、モニタリング等に記入ができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	7			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	8			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	8			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	4			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・サービス利用前にアセスメント、プランの確認が行えており職員全体で共有することができている。 ・慣れていない環境でご本人、ご家族の不安軽減ができるような声掛けの配慮や気持ちを汲み取ろうとする事で関係が築けた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・接遇の質向上。 ・細かい対応の統一ができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・再度接遇の研修を行い職員の質のばらつきを改善する。 ・細かい支援方法の統一をするため、リーダーが中心となり申し送りノートを活用した支援、対応方法の共有や、いつでも質問ができる環境作りに努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	6人	人	人	8人

前回の改善計画	間違えた支援をしている職員へ対し誰でも指摘ができる職場作りをする。直接指摘、指導が出来ない職員がいる場合は、管理者、ケアマネ、リーダーへ報告する。 ご家族の意向に傾き過ぎないように目標を設定する。
前回の改善計画に対する取組み結果	誰でも支援の間違いを指摘できる環境になってきている。 目標の見直し行い、支援することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？					8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8			8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	5	1		8
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	6			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアプランをもとにモニタリングをする事で支援内容の把握ができた。 ・モニタリングにて振り返り、次回に繋げる事ができた。 ・職員会議でケアの見直しをする事ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・実施内容のミーティングでの発言ができなかった。 ・モニタリング担当のご利用者については目標がわかっているが、担当が変わると記憶が曖昧になってしまう事がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・各職員が月1回の職員会議までに全ご利用者のモニタリングを確認し意見をまとめる事で誰でも発言ができる円滑な会議にする。 ・モニタリングを確認したかのチェック欄を作り確認忘れがないようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
3. 日常生活の支援	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画	体調変化や状態変化が見られる際は指示を仰ぐだけではなく、どのように支援していくかを各職員自身でもしっかりと考えてもらう。 アセスメントに記載してある生活歴もしっかりと確認、記憶してもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前に比べ体調変化や状態変化に対して各職員の意見を聞けるようになってきている。 生活歴を記憶している事でご利用者との会話が弾み関係を深める事ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		4	4		8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	5			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	5			8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	4			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	5			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の変化に気づいた際、体調の変化の場合は看護師に報告しバイタルチェックやベッド臥床の対応をし、気持ちの変化の場合はご利用者に寄り添い話を聞く等の対応をするとともに記録にも残し職員へスムーズに情報共有行えている。 ・基礎的な介護はできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・以前の暮らし方が10個以上把握できていますか？のところで、アセスメントシートには記載があるが全て覚えていないので答えられない。 ・気持ちや体調変化に気づき報告や共有はできているが自分自身で対応策がわからない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・個人ファイルのアセスメントシートの定期的な確認をモニタリング確認の際に行い、記憶する。 ・対応策がわからない場合は他職員に確認しながら自分のスキルアップに繋げる。わかる職員もすぐに答えるのではなくヒントを出す等、スキルアップに協力をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2人	5人	1人	8人

前回の改善計画	地域資源の理解がまだ浅い為、研修を行う。 地域資源の情報を職員全体で収集し共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源について知識は向上したが、活用までに至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		6	1	1	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	2	2	2	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		5	3		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4	2	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域資源について理解が浅いのでインターネットで調べ自分自身での学習をしたり上司に聞くなどした事で知識が増えた。 ・ご自宅での様子は送迎時等でご家族から話を聞く事ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源の情報把握はしているが活用できる場面が今のところない。 ・積極的に今までの生活スタイルや事業所が直接接していない時の過ごし方を確認していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域資源が必要なご利用者がいつ利用になってもいいように情報収集や活用方法を考えておく。 ・ご家族からの情報収集をするため送迎時に日常会話を積極的に行い、情報を引き出し職員へ共有をする。 ・現場職員が、ご家族とのかかわりを多くできるように管理者、ケアマネは協力する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	2人	人	8人

前回の改善計画	在宅支援の為、訪問の提案は継続し回数を増やせるように努める。 ご本人、ご家族と相談しながら在宅で過ごす時間を多く出来るようにして地域資源を活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問の回数は徐々に増やす事ができている。 在宅で過ごす時間を多くする事はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		1	7		8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	3	3		8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	5			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	4			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・介護者が病気やケガがあった際、急なサービス変更にも柔軟に対応できている。 ・変化があった際はミーティングで共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族の都合もあり仕方ない部分もあるが宿泊や連日の通所希望が多く在宅で過ごす時間が少ない。 ・地域資源の活用ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・小規模多機能としての活用方法をしっかりと再度確認しながら、ご利用者が在宅で過ごす時間が少しでも多くなるように努める。 ・ご利用者に地域資源の活用ができないか、職員全体で話し合う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
6. 連携・協働	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	1人	1人	5人	8人

前回の改善計画	一般の方の来訪者を増やす為、地域に出向いたりイベントをする際はこちらから声を掛けるなどの発信をして、認知度を上げる。 全職員が地域活動、イベントについて意識をして情報収集、共有に努める。 職員も地域の行事等に参加出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウイルス蔓延のため、地域のイベント情報の収集は積極的に行っていたがほとんど中止。開催していても、感染予防のため参加できず。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？			3	5	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			2	6	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			3	5	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			2	6	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・直接会場まで行き会議に参加することはほぼなく、回数は少ないがリモート会議に参加する事ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナウイルス蔓延のため会議やイベントは中止で参加はできていない。 ・面会制限もしているので外部の方が来訪する事ができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・リモート会議の機会が増える可能性が高いのでパソコン操作の研修も取り入れる。 ・コロナウイルスが落ち着き、近隣の高齢者や子どもたちが来訪できるようになった時の受け入れ態勢を整えておく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
7. 運営	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	2人	3人	2人	8人

前回の改善計画	地域の方々との距離を少しずつでも縮められるよう、散歩や外出時、イベント開催時等で顔を合わせる機会がある時は挨拶をしてこちらからアプローチをかける。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウイルス蔓延にともない、イベントが中止になりアプローチできず。施設周辺の畑仕事をしている方への挨拶や日常会話はできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか？	1	5	2		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	6			8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	5	1	1	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		4	3	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域住民から夜間騒音や声がうるさいとの苦情があり、夜10時で交代する勤務者に注意するとともに、車の駐車位置を変更する等、真摯に受け止め改善に努めている。 ・ご利用者からお粥が冷たいと苦情があった際、厨房からの運搬方法や提供前に温度の確認をしっかりとる等、即時対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナウイルス蔓延のため、地域との協働した取り組みについて積極的な交流ができず発信が困難だった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・苦情については真摯に受け止め迅速に対応する。 ・積極的に地域へ発信ができるようになった際にどのようなアプローチでどのような協働した取り組みをするのかを具体的にしておく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	2人	3人	2人	8人

前回の改善計画	施設外研修へ多くの職員が参加できるように調整する。 資格取得やスキルアップに繋がる事があれば職員同士で協力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	施設外の研修はほぼ中止になってしまったが施設内研修は行い知識向上に努める事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	3	2	2	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1		3	4	8
③	地域連絡会に参加していますか			2	6	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	2	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 施設内研修の開催、参加ができた。 - 外部の研修は中止になってしまったが自主学習で知識向上が図れたと思う。 - 今年は感染に対するリスクマネジメントをしっかりと行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- コロナウイルス感染予防のため今年は資格の受験をあきらめた。 - 施設外研修の中止で参加できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- リモート研修へ積極的に参加促しをおこなう。 - 施設内研修は継続し行い、スキルアップに繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年3月17日
9. 人権・プライバシー	メンバー	一之瀬、北野、小山内、関澤、高野、矢崎、井原、梶原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	人	人	人

前回の改善計画	成年後見制度が必要なご利用者がいる場合は活用する。 スピーチロックの研修は継続し行い不意な瞬間でも言い換え、置き換えが出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度が必要なご利用者がいなかった。 スピーチロックは職員全体が気を付け言い換える等の対応ができてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	5	3			8
②	虐待は行われていない	8				8
③	プライバシーが守られている	6	2			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している				8	8
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	3			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること - 身体拘束や虐待はなく、プライバシー保護については注意し業務を行う事ができている。 - ご利用者に寄り添う支援に努める事ができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること - 不意な瞬間に出た声掛けに対して他職員からの注意があり適切ではない事がわかった。 - 成年後見制度の活用ができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- スピーチロックに対しての意識は高くなってきているが、まだ言い換えがスムーズにできない職員がいるので職員同士の注意や研修は継続し行い意識向上を図る。 - 身体拘束、虐待防止、権利擁護の研修も行う事でご利用者への接し方について再確認をする。 - 成年後見制度が必要なご利用者がいた場合は活用する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 光珠福祉会	代表者	荻野 健	法人・ 事業所 の特徴	昭和 50 年 5 月に養護老人ホーム光珠荘を事業開始し、平成 24 年 3 月地域密着型特別養護老人ホームとショートステイを開所。平成 27 年 4 月居宅介護支援事業所を開所。平成 28 年 3 月に小規模多機能型居宅介護ライフサポートハウスエール二之宮を開所する。法人理念は「敬愛と尊厳」。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「通い」を中心に「泊まり」、「訪問」の 3 つを組み合わせ、切れ目のないサービスで安心を届けます。
事業所名	ライフサポートハウス エール二之宮	管理者	一之瀬 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	人	人	1 人	1 人	人	3 人	人	7 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	自己評価をただで終わらず定期的に 見直し、できていなかった 取り組みを実現できるように 努力する。	- 定期的な見直しをせず、改善 結果に個人差が見られた。 - 前年と同じできなかった事を記 入する職員もいた。	コロナウイルスで大変なのに頑 張っていると思う。	引き続き自己評価を行い個々の スキルアップに繋げて行く。
B. 事業所の しつらえ・環境	- ご利用者が制作した作品は今ま で同様展示し事業所内を華や かにして行くとともに、去年行 えなかった野菜や花の栽培を 行う事で季節を感じてもらう。 - 地域交流スペースは今後の検討 課題として行く。	- 施設内の展示物は外出レクがで きなかったのが去年に比べ華 やかになった。 - コロナウイルス蔓延のため外部 からの受け入れ制限をしてい たので地域の方との交流を図 る事ができなかった。	施設に行く事ができていないの で何とも言えない。	コロナウイルスで来訪者がほぼ ないが、ご利用者が制作した季 節に応じた展示は継続し行い、 来所して来るご利用者に楽し んで頂く。
C. 事業所と地域の かわり	小規模多機能のパンフレットを 作成したので定期的に各機関 に出向き発信して行く。	- 地域のイベントや施設で開催予 定だったイベントも中止とな り交流を図れる場が少なく十 分な発信ができなかった。 - 出勤時、退勤時に顔を合わせる 機会があった際はあいさつや、 日常会話程度はする事はでき ている。	コロナウイルスの影響で行事や イベントの開催や出席は困難 であったかと思います。	コロナウイルスの動向に配慮し ながら施設のイベント主催、地 域イベントへの参加を検討す る。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・事業所周辺の行事参加は継続し行い、ご利用者の住まい周辺の行事についても全職員がアンテナを張り情報を収集し参加まで繋げる。	・各地域のイベントが中止になり、ご利用者との外出機会も少なくなってしまった。三密にならない施設周辺の散歩には出かけご利用者の気分転換ができています。	・地域の行事への参加や地域の方々との交流が難しい状況の中、施設の方々の努力や工夫が感じられます。	・外部との接触が困難な状況なので施設内で楽しめる事を考える。 ・外出制限が緩和、解除されたら外出レクを起案する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議を通し施設として区長、民生委員に情報共有を行う。	・今年度の運営推進会議は、対面して直接ご意見を頂ける場面はありませんでしたが資料を確認して頂きご意見があった際は改善に努める事ができた。 ・地域に出向いたり来訪ができない状況だったため関係性が築けず、気軽に相談できる施設というまでの存在になれていない。	・実際に集まっての会議ができなかったので色々と難しい状況だったと思いますが、書面で確認はできました。	・直接お会いしての会議開催ができない場合はわかりやすい資料を作成しご意見を頂く。
F. 事業所の 防災・災害対策	・定期的に避難訓練、防災訓練は行う。 ・運営推進会議等で地域の方と災害時にどのような助け合いができるかを話し合う。	・感染症対策で消防署の立ち合いはありませんでしたが、年2回の避難訓練と年1回の防災訓練は安全に実施する事ができた。 ・運営推進会議の場で災害時、地域の方との細かい行動や施設としてできる事等の発信はできていない。	・安全に訓練実施ができていたとの事で良かったと思います。	・年2回の避難訓練、年1回の防災訓練を安全に実施する。 ・防災訓練時、訓練用消火器を使用し多くの職員に消火器の正しい使用方法の研修に参加してもらう。

サテライト型特別養護老人ホーム エール境川

令和３年度 事業報告書

1 事業実施状況について

令和３年度運営方針と重点目標及び事業計画に基づき、入居者一人ひとりの人格を尊重し、従来の生活との継続が図られるよう個別の介護サービスを提供するとともに、自律的な日常生活を営むことができるよう支援しました。

継続的な新型コロナウイルスの感染予防対策を必要とした令和３年度において、施設での入居者の日常生活ができる限り穏やかなものとなるよう多職種で協議し、適切な地域密着型入居者生活介護サービスの提供に努めました。長引くコロナ禍において家族や地域との交流機会が減少するなか、様々なレクリエーションの企画・開催に取り組みました。また、会議や研修等は、感染状況に応じてインターネットや書面資料による開催等の手段も活用しました。

2 入居の状況について

別表１「入居状況報告」参照

- ・入居の状況
- ・入居者の状況
- ・入居及び優先入居申込受付の状況
- ・入居検討委員会及び優先入居検討委員会の開催状況

3 提供した介護サービス等について

(1) 食事

入居者の健康状況と嗜好に配慮し、季節感を感じられる献立を提供しました。食事時間は、それぞれの入居者の生活リズムに応じて、朝食(7時30分～9時30分)、昼食(11時30分～13時30分)、おやつ(14時～16時)、夕食(17時30分～19時30分)の間で提供しました。

(2) 入浴

入居者の希望と健康状態に応じて個浴・介助付個浴・機械浴による入浴を原則として週２回以上行いました。入浴時間は、午前(9時～11時)と午後(13時～15時)とし、事前に健康チェックを済ませたうえで、個浴・介助付個浴はマンツーマン、機械浴は２対１の入浴介助にて行いました。入浴後は、水分補給に注意しました。入浴拒否や体調不良により入浴ができない場合は、着替えと清拭を行いました。

(3) 排泄

入居者の尊厳を大切に考え、排泄の自立を支援しながら一人ひとりの状況に応じたトイレ誘導、オムツ交換などの排泄介助を行いました。

(4) 機能訓練

看護職員と介護職員の協働により、入居者の心身の状況に応じて日常生活機能の維持を目的とし

た機能訓練を個別に随時行いました。

(5) レクリエーション

個別・ユニット・施設のレクリエーションは、家族やボランティアの参加・協力を仰ぎながら、別表2「レクリエーション実施表」のとおり行いました。また、入居者の趣味や嗜好に合わせたカラオケ、折り紙、編み物、裁縫、読書等の個別のレクは随時行いました。

4 健康管理について

(1) 毎朝のバイタル(体温・呼吸・脈拍・血圧)チェック、毎月の体重測定など入居者の健康管理及び排尿・排便の状態確認、食事摂取量の確認など体調管理は、看護職員以下全職員が連携して行いました。

(2) 嘱託医師の往診は、毎月2回(第2・4週金曜日)行いました。また、血液(採血)検査は6月9日と12月7日の2回、胸部X線検査は3月24日に、それぞれ入居者全員、インフルエンザワクチン接種(2回接種)は10月22日と12月17日に実施しました。急変時など医療機関の受診が必要な場合は、嘱託医師の往診または嘱託医の指示による協力医療機関等への救急搬送を行うとともに、必要に応じて家族同行による通院・受診を適宜行いました。新型コロナウイルスワクチン追加接種は2回目を6月18日、3回目を1月28日に実施しました。

(3) 職員の健康管理として、7月19日と3月10日に全職員の生活習慣病健診(腰痛検査含む)を山梨厚生病院検診車来設にて行いました。夜勤をする介護職員は、11月22日に山梨厚生病院検診車来設にて健診(腰痛検査含む)を行いました。また、インフルエンザワクチン接種(1回接種)は、全職員に11月12日(当日不可は予備日で対応)に行いました。新型コロナウイルスワクチンは2回目・3回目を各自6か月経過時点で接種しました。

5 感染症予防対策について

(1) 感染症予防対策委員会を毎月行いました。また、7月16日・8月4日に感染症と食中毒のまん延防止のための職員研修①、11月17日に感染症と食中毒のまん延防止のための職員研修②を行いました。

(2) 職員は最新の感染対策ガイドラインやマニュアル等に沿って、同居家族等も含めた日々の健康状態の管理に努め、就業時には施設職員玄関にて検温と健康確認を徹底しました。家族や来訪者等にも感染予防の協力を求め、コロナウイルス感染症対策として面会禁止や、状況に応じてガラス越しでの面会、その際には、検温、手指消毒、マスクの着用をお願いしました。

(3) 施設内の清掃・消毒は、全職員が分担して毎日行いました。

以上の対策により、感染症のまん延及び食中毒の発生はありませんでした。

6 安全管理について

事故防止・虐待防止・身体拘束廃止については、毎月委員会で検討しながらユニット及び多職種

で連携し施設全体で取り組みました。介護事故発生に係る笛吹市への報告事例は3件、虐待及び身体拘束の事例はありませんでした。

7 職員構成と職務分担について

常時、適正な職員体制をとり、それぞれの職員がその職務を果たしました。

8 委員会活動及び施設内・施設外研修について

- (1)職員による委員会活動の状況及び施設内研修と施設外研修の実施・受講の状況については、別表3「委員会の活動状況及び施設内研修と施設外研修の実施・受講の状況 一覧表」のとおり行いました。また、施設外研修を受講した者は、その受講内容について職員間で共有を図るためユニット会議時等において振り返り研修を行いました。

9 会議について

- (1)運営会議・全体会議・リーダー会議・ユニット会議の各会議については、事業計画にて定められたとおり定期的に開催し、その内容を記録し保存するとともに、送りや回覧等にて職員間で共有しました。

(2)苦情解決第三者委員会

施設入り口(事務室前)に窓口を設置、併せて申立ての方法と解決までの過程及び昨年度の苦情と結果を記した案内を掲示し、入居者や家族が意見・苦情を言いやすい環境づくりに心がけました。

また、家族に向けて毎月発行している「エール通信」において、寄せられる意見・苦情が施設の運営や提供する介護サービスの質の向上につながる旨お伝えし、協力を求めました。

このような取り組みの結果、特に苦情等はありませんでした。

また、法人の苦情解決規定に測り、受け付けた苦情は半期ごとに苦情解決第三者委員に報告するとともに、9月4日(土)に令和3年度苦情解決第三者委員会を书面開催し、苦情解決結果の報告等を行いました。

(3)入居検討委員会・優先入居検討委員会

別表1「入居状況報告」参照

(4)運営推進会議

運営推進会議は以下のとおり行いました。また都度、議事録を作成し、笛吹市に報告しました。

日 時	内 容
第1回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・4～5月の介護サービス提供状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。 その経過を各委員に報告。

第2回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・6～7月の介護サービス提供状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。
第3回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・8～9月の介護サービス提供状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。
第4回 運営推進会議 11月30日(水) 13時30分～14時15分	・10～11月の介護サービス提供状況 ・その他
第5回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・12～1月の介護サービス提供状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。
第6回 運営推進会議 施設内での開催は中止	・2～3月の介護サービス提供状況等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記内容について書面資料を作成、各委員に送付し意見をいただいた。寄せられた意見等を施設運営に反映。その経過を各委員に報告。

10 防災等訓練について

昼間想定避難訓練を3月18日、夜間想定避難訓練を3月30日に実施しました。防災訓練は12月9日に実施しました。また、防災施設自主点検は、定期的に毎月行いました。

11 ボランティア・実習生の受入れ及び地域との連携・交流について

(1) ボランティア

コロナウイルス感染症対策のため、外部のボランティア・実習生の受け入れ等はありませんでした。

(2) 地域

コロナウイルス感染症対策のため、例年参加する地域の行事等も中止となり、交流の機会が減少しました。

1月9日	石橋区消防団 出初式 出席
------	---------------

別表 1

入居状況報告

令和 4 年 3 月 31 日

1 入居の状況

月	延べ入居者数 (人)	退 居		入居	月間施設 利用日数 (日)	施 設 利用率 (%)
		件数	事由			
4	29	1	死亡	0	774	89.0
5	28	1	療養型入所	1	813	90.4
6	28	1	療養型入所	1	786	90.3
7	29	0		1	854	95.3
8	26	3	死亡	0	833	92.7
9	25	1	死亡	0	762	87.6
10	28	1	死亡	3	847	94.2
11	27	0		0	810	93.1
12	29	0		2	863	96.0
1	27	2	死亡	0	826	91.9
2	29	0		2	802	98.8
3	28	2	死亡	1	860	95.7
計	333	12		11	9,830	92.9

2 入居者の状況

(1)出身市町村別分布表

市 町 村 名	男 性	女 性	計
御 坂 町	1 人	1 人	2 人
石 和 町	0 人	5 人	5 人
八 代 町	1 人	5 人	6 人
一 宮 町	2 人	4 人	6 人
境 川 町	3 人	3 人	6 人
春日居町	0 人	1 人	1 人
芦 川 町	1 人	1 人	2 人
計	8 人	20 人	28 人

(2)年齢分布表

	男 性	女 性	計
65～69 歳	0 人	1 人	1 人
70～74 歳	0 人	0 人	0 人
75～79 歳	1 人	2 人	3 人

80～84 歳	1 人	5 人	6 人
85～89 歳	0 人	5 人	5 人
90～94 歳	4 人	5 人	9 人
95～99 歳	2 人	2 人	4 人
100～104 歳	0 人	0 人	0 人
105～109 歳	0 人	0 人	0 人
計	8 人	20 人	28 人
平均年齢	89.5 歳	86.9 歳	87.5 歳

	最高年齢	最低年齢
男 性	97 歳	79 歳
女 性	98 歳	68 歳

(3) 要介護度分布表

	男 性	女 性	計
要介護 1	0 人	0 人	0 人
要介護 2	0 人	0 人	0 人
要介護 3	2 人	4 人	6 人
要介護 4	3 人	8 人	11 人
要介護 5	3 人	8 人	11 人
計	8 人	20 人	28 人
平均要介護度	4.1	4.2	4.2

(4) 日常生活自立度分布表

	男 性	女 性	計
I	0 人	0 人	0 人
Ⅱa	2 人	0 人	2 人
Ⅱb	0 人	2 人	2 人
Ⅲa	5 人	8 人	13 人
Ⅲb	0 人	1 人	1 人
IV	1 人	9 人	10 人

M	0 人	0 人	0 人
計	8 人	20 人	28 人

3 入居及び優先入居申込受付の状況

一般入居申込受付	228 件
優先入居申込受付	8 件
合 計	236 件

4 入居検討委員会(優先入居検討委員会を含む)の開催状況

開 催 会 議 名	日 時
第 12 回入居検討委員会	3 月 26 日資料送付による承認 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 各委員の書面確認にて決定

別表 2

令和 3 年度 レクレーション実施表(施設全体及び各ユニット)

日 付	レクレーション名	内 容
4 月 16 日	春のドライブレク	お花見にお出掛け(ふるさと公園までドライブ)
4 月 18 日	誕生会	入居者様の誕生日を皆でお祝い
4 月 21 日	お茶会	外でおやつを楽しむ
5 月 7 日	おやつレク	ユニットで明石焼きを作って楽しむ
5 月 9 日	お花見レク	お花見にお出かけ(御坂の湯のバラの鑑賞)
5 月 11 日	端午の節句	兜をかぶって記念撮影
5 月 23 日	お茶会	駐車場(屋根下)でおやつを食べる
5 月 31 日	初夏祭り	賑やかに綿菓子・たこ焼き・アイスクリーム・魚釣りゲームなどで楽しむ
6 月 16 日	誕生日会	みんなであんみつを作ってお祝い
6 月 22 日	オヤツレク	みんなと一緒におやつを作りおいしくいただく
6 月 27 日	誕生日会	手作りおやつで誕生日をお祝い
7 月 7 日	七夕レク	短冊・飾りつけをしてユニットごとに七夕を楽しむ
7 月 9 日	誕生日会	みんなと一緒におやつを作り誕生日のお祝い

7 月 26 日	流しそうめんレク	昼食で納涼流しそうめん
7 月 27 日	夏と言えばスイカ！	スイカのフルーツポンチを作っておいしくいただく
8 月 4 日	オリンピック観戦	ハチマキや日の丸国旗で がんばれニッポン！！
8 月 17 日	手作りおやつレク	手作りゼリーをみんなで作る
8 月 18 日	誕生日会	昨日のよく冷えたゼリーにクッキーをトッピングして誕生日のお祝い
8 月 20 日	スイカ割り	みんなで賑やかにスイカ割りを楽しむ
8 月 26 日	夏祭り(納涼祭)	施設全体レク(綿菓子・かき氷・たこ焼き・魚釣りゲーム)
9 月 11・12 日	おやつレク	ご家族から頂戴したシャインマスカットを使ってゼリーを作りみんなでおいしくいただく
9 月 16 日	誕生日会	誕生日のお祝い
9 月 21・23・24 日	敬老会	ユニットごとで趣向を凝らした敬老のお祝い(記念品・手作りメッセージカード贈呈・一人ずつの記念撮影など)
9 月 29 日	誕生日会	チョコバナナスムージーを作って誕生日のお祝い
10 月 13 日	ドライブレク	絶好の紅葉シーズン、ドライブにお出掛け
10 月 22 日	焼き芋レク	焼き芋の香りと味で季節感を味わっていただく。普段とはちょっと違うお茶の時間を楽しむ
10 月 25 日	誕生日会	ご本人の希望するどら焼きを作り誕生日のお祝い
10 月 30 日	ハロウィン	みんなで賑やかにハロウィンパーティを楽しむ

11 月 11 日	誕生日会	外気浴もかねて駐車場にテーブルを出して誕生会＆お茶会
11 月 11 日	ラーメン・焼きそば	入居者からの麺類(ラーメン・焼きそば)が食べたいとの要望に応じて昼食時で提供
11 月 29 日	手作りおやつ誕生会	手作り生チョコタルトで誕生日のお祝い
12 月 4 日	カップケーキ誕生会	クリスマスの雰囲気も楽しみながら誕生日のお祝い
12 月 16 日	クリスマス会	施設全体レク(ケーキを食べたり、職員扮するサンタクロースと歌を歌ったり写真を撮ったりして楽しむ)
12 月 16 日	誕生日会	クリスマスの雰囲気も楽しみながら誕生日のお祝い
1 月 1 日	お正月レク	お正月にちなみ、おやつの時間にお汁粉を提供
1 月 7 日	お正月レク	福笑いや書初めでお正月気分を味わう
1 月 17 日	誕生日会	紙相撲をしたりしながら誕生日のお祝い
2 月 7 日	バレンタインレク	甘いバレンタインの雰囲気のなかチョコをおいしくいただく
2 月 26 日	誕生日会	皆さんから一言ずつメッセージをいただき、歌を歌って、いちごパフェで楽しくお祝い
2 月 28 日	誕生日会	思い思いにデコレーションをしたケーキでお誕生日のお祝い
3 月 18 日	誕生日会	ひな祭りパフェを作り、誕生日のお祝い
3 月 30 日	お茶会	暖かい春の午後、外へ出ておやつの時間を楽しむ
3 月 31 日	誕生日会	コーヒーゼリーパフェを作り、誕生者のお祝い

別表3

委員会の活動状況及び施設内研修と施設外研修の実施・受講の状況 一覧表

日 時	内 容		参加職員(人数)
4月12日(火)13:30～	R3年度事業計画の算定	施設内	施設長他(8名)
4月13日(金)13:30～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
4月12日・20日・24日 13:30～	24時間介護看護連携体制研修	施設内	講師：看護師 生活相談員、介護支援専門員、介護職員(5名)
4月19日(月)13:30～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
4月27日(火)13:30～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
5月10日(火)13:30～	24時間介護看護連携体制研修	施設内	講師：看護師 生活相談員、介護支援専門員、介護職員(5名)
5月11日(火)13:30～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
5月24日(月)13:30～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
5月25日(木)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
6月8日(火)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(6名)
6月10日(木)14:30～	身体拘束等適正化委員会	施設内	身体拘束等適正化委員9名
6月22日(火)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
6月27日(日)14:00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
7月14日(水)14:30～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
7月16日(金)13:30～	感染症①食中毒予防①演習①	施設内	講師：看護師 管理栄養士、介護職員3名
7月22日(木)13:30～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
7月27日(火)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
8月4日(水)14:00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
8月4日(水)14:30～	感染症①食中毒予防①演習①	施設内	講師：看護師 管理栄養士、介護職員(3名)
8月11日(水)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
8月19日・20日・31日 14:00～	身体拘束適正化研修① ヒヤリハット事故防止研修①	施設内	全職員対象
8月23日(月)14:30～	レク委員会	施設内	レク委員(4名)
8月24日(火)13:30～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
9月3日(金)14:30～	レク委員会	施設内	レク委員(4名) 看護師・相談員・介護支援専門員・管理栄養士
9月10日(金)14:30～	身体拘束適正化委員会	施設内	身体拘束適正化委員(9名)
9月15日(水)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
9月28日(火)13:30～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
10月 7 日(木)13:30～	レク委員会	施設内	レク委員(4名)
10月13日(水)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)

10月19日(火)14:00～	レク委員会	施設内	レク委員(4名)、管理栄養士
10月20日(水)14:00～	感染症防止委員会	施設内	感染症防止委員(5名)
10月26日(火)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
11月11日(木)13:30～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
11月17日(水)13:30～	感染症防止委員会 感染症②食中毒予防②演習②	施設内	感染症防止委員(5名) 講師:看護主任・管理栄養士
11月24日(水)14:30～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
12月 3日(金)13:30～	レク委員会	施設内	レク委員(4名)
12月 3日(金)14:30～	高齢者権利擁護研修	施設内	相談員、介護職員(8名)
12月 9日(木)13:30～	避難訓練	施設内	職員・全入居者
12月13日(月)14:00～	レク委員会	施設内	レク委員(4名)・管理栄養士・看護師
12月14日(火)13:30～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
12月14日(火)14:30～	身体拘束適正化等委員会 身体拘束研修	施設内	身体拘束適正化委員(4名)・介護職員(3名) 講師:介護支援専門員 施設長・事務員・看護主任 管理栄養士・生活相談員
12月15日(水)13:30～	レク委員会	施設内	レク委員(4名)
12月28日(火)13:30～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
1月25日(火)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
2月17日(木)14:00～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(5名)
2月21日(月)13:30～	感染症委員会	施設内	感染症委員(3名)・看護師(2名)
2月23日(水)13:30～	レク委員会	施設内	レク委員(4名)
3月15日(火)13:30～	事故防止委員会	施設内	事故防止委員(3名) 看護師・介護支援専門員・生活相談員
3月17日(木)13:30～	感染症委員会	施設内	感染症委員(3名)・看護師(2名)
3月18日(金)13:30～	避難訓練(昼間想定)	施設内	職員・全入居者
3月22日(火)14:00～	給食委員会	施設内	給食委員(4名)
3月26日(土) 書面開催	入居検討委員会	施設内	管理者・嘱託医ほか
3月29日(火)13:30～	レク委員会	施設内	レク委員(4名)・看護主任・管理栄養士
3月30日(水)13:30～	避難訓練(夜間想定)	施設内	職員・全入居者

令和 3 年度事業報告書

養護老人ホーム 光珠荘

1. 事業実施概要

令和 3 年度運営方針及び事業計画に基づき、入所者が健康で安心した日常生活が送れるよう支援しました。新型コロナウイルス感染症対策を継続しなければならぬ状況の中、地域行事等も 2 年度に続き中止となり、楽しみにしていた地域の皆さんとの交流もありませんでした。施設内でのイベント・レクリエーションの開催やクラブ活動を例年より増やすことで、お互いの会話や関わりがより多く持てるようにしました。

2. 入所者の処遇

(1) 入所者の状況

別添「入所者状況報告」参照

- ・入所者出身市町村別状況
- ・入所者年齢分布表
- ・入所者在所期間の状況
- ・日常生活動作の状況
- ・3 年度入退所者一覧

(2) 健康管理

ア 常に入所者の健康状態の確実な把握に心がけ、適切な応急処置により健康の維持を図るよう努めました。

イ 健康づくりとして、朝昼の体操、嚥下体操、散歩等屋外での軽運動を実施しました。

ウ 職員の生活習慣病健診

職員全員が健診を受診し、健康維持増進を図りました。

エ 嘱託医来診等

健康診断	毎月第 3 水曜日	入所者採血	4 月, 10 月
精神科医定期診察	毎月第 2 水曜日	結核検診	10 月
インフルエンザ予防接種	10 月, 12 月		

オ 入院状況

加納岩総合病院	7 名	日下部記念病院	6 名
市立甲府病院	2 名	山梨厚生病院	2 名
石和共立病院	1 名	甲府脳神経外科病院	1 名

回生堂病院	1 名	笛吹中央病院	1 名
-------	-----	--------	-----

※延べ人数

カ 外来受診状況

感染リスクを避けるため、できるだけ職員による代理受診としました。

加納岩総合病院	10 名	石和共立, 市立甲府病院, 山梨厚生病院, 長坂整形外科医院 各 1 名
篠原医院	5 名	
篠原歯科	3 名	
笛吹中央病院	3 名	
日下部記念病院	3 名	

※人員のみ

(3) 感染症予防対策

ア 感染症予防対策委員会を定期以外にも必要に応じて随時実施し、新型コロナウイルス感染症の発生状況等の情報を更新、共有することに努めました。

イ 毎月、「感染症予防」を重点目標として、食事前、トイレ後、外出後の手洗い・消毒及びうがいを励行し、換気についても 1 時間ごとに施設内放送で入所者にも協力を促し、感染対策の徹底を図りました。

ウ 定期的に業者による消毒を行い衛生強化に留意しました。

エ 新型コロナウイルス感染症発生を受け、前年度に引き続き、面会の制限、外出の自粛、職員の出勤前及び休憩時の体温チェック、マスクの着用、消毒の徹底を行いました。来荘者については、検温・手指消毒はもちろん、体調の変化等聞き取りを行い、感染予防に努めました。

オ 感染予防のためユニホームの着用（上下）を継続し、施設外に持ち出すことがないようにしました。

(4) 給食

入所者が安全で楽しい食生活ができるよう下記事項に留意しました。

ア 新鮮で安全な食材の確保、季節感のあふれる食事の提供

イ 健康状態に応じた食事やおやつの提供(食形態の工夫・糖尿病・減塩等)

ウ 適切な栄養管理

また、毎月の行事食や選択食に加え、入所者からの要望の多かった「ラーメン」をメニューに取り入れ、提供することにしました。

(5) レクリエーション

行 事	月 日 等
お花見	4/ 1 (木) 荘庭及び隣接する称願寺境内散策

花よりだんごの会	5/27（木）ヨーヨー釣り他ゲーム, 三線, カラオケ
野菜の植付	6/ 9（水）希望者でキュウリ, トマトの苗を植付
七夕	7/ 1（木）短冊に願いを書いて飾付を行う
花火大会	8/ 3（火）荘庭で夏の風物詩を楽しむ
お盆	8/13（金）迎え火 8/16（月）送り火
敬老会	9/16（木）抽選会, カラオケ
スポーツレク	10/25（月）風船バレー, トランプゲーム, 射的
秋祭り	11/18（木）荘庭でヨーヨー釣り, 射的ゲーム, 綿菓子
クリスマス	12/23（木）入所者によるハンドベル演奏, スライドショー, 年末抽選会
お正月レク	1/31（月）かるた, けん玉, こま, 福笑い
スポーツレク	2/28（月）ボウリング, ボール運び
体力測定レク	3/28（月）握力, 視力, 長座前屈, 5m歩行, 上体起こし
クラブ活動（カラオケ, 習字, ハンドベル, ハンドメイド）：隔週実施 映画・ビデオ鑑賞：毎月実施 塗り絵, シャボン玉, パズル等：随時実施	

(6) 苦情解決

定期的に「今月のお知らせとお願いの集い」及び「グループ別話合い」を実施し、また随時に入所者の苦情等の把握に努め7件の苦情・要望等を受付け速やかに対応しました。

月 日	苦情（相談）内容	対 応・結 果
7/29	廊下を歩く音がうるさい。 便器の蓋を閉める音がうるさい。	夜間は静かに歩くこと、蓋の開閉は故障の原因にもなるので静かにすることをお願いしました。
7/29	就寝の音楽を変えてほしい。	変更が難しい状況なので、ボリュームを下げての対応で納得していただきました。
7/29	夜間冷房が効きすぎて寒いので温度を上げてほしい。	冷房箇所を変更することとしました。
7/29	お風呂の呼び出しが遅い。	公平な順番で呼んでいることを説明し、ご理解願いました。後日、入浴班を変更して対応しました。

11/25	トイレの便座の蓋をしない人がいる。	感染予防のため、また暖かい便座に座れるようにするため、気をつけるよう願いました。
3/10	月に2回の清掃日、少人数で大変。	新たな清掃用具を購入するなどして参加できる人を増やすことに努めます。
3/10	トイレの床や便座が濡れていることがある。	その都度職員を呼んでくださいと願いました。

3. 災害対策

火災・地震等の災害に対する通常の避難訓練に加え、施設が土砂災害警戒区域にあるため、垂直避難の訓練も行いました。訓練を行うことで、職員及び入所者の防災意識向上に努めていきます。

- (1) 防災施設自主点検（毎月）
- (2) 避難訓練（昼間火災想定5回、夜間火災想定6回、土砂災害想定1回）
- (3) 防災訓練（地震想定1回）

4. 事故防止対策

事故防止委員会及び事故防止研修等を定期的に実施し、事故やヒヤリハット事例を検証しました。事故報告は3件ありました。

5. 短期宿泊事業等

笛吹市及び甲州市と、短期宿泊事業の委託を受けましたが、3年度は利用がありませんでした。緊急一時保護事業については、笛吹市から1名の利用があり、その後措置入所となりました。契約入所は5名あり、4名が利用中です。

6. 研修・委員会等

月 日	実 施 内 容	出席者
3. 4. 21	感染症予防対策委員会 事故防止委員会	委員 7 名
3. 4. 26	感染症予防研修：手袋の着脱法と手指衛生について	職員 11 名
3. 5. 21	感染症予防対策委員会 身体的拘束適正化検討委員会	委員 7 名

3. 5. 24	事故防止研修：事故対応マニュアルの周知等	職員 10 名
3. 6. 1～	安全対策担当者養成研修	生活相談員
3. 6. 17	感染症予防対策委員会	委員 8 名
3. 6. 21	感染症予防研修：新型コロナウイルス感染症の現状	職員 11 名
3. 6. 30～	関東ブロック老人福祉施設研究総会 かながわ高齢者福祉研究大会	支援員
3. 7. 19	感染症予防対策委員会	委員 7 名
3. 7. 26	虐待防止研修：虐待防止マニュアルの周知徹底、言葉 の暴力について 感染症予防：感染症予防対策 YouTube 閲覧	職員 9 名
3. 8. 23	感染症予防対策委員会	委員 9 名
3. 8. 30	防災対策：防災マニュアルの周知徹底	職員 7 名
3. 9. 21	感染症予防対策委員会 身体的拘束適正化検討委員会	委員 8 名
3. 9. 27	身体的拘束研修：身体的拘束等適正化指針	職員 8 名
3. 10. 22	感染症予防対策委員会	委員 8 名
3. 10. 28	防犯対策	職員 7 名
3. 11. 16	感染症予防研修：ガウンテクニック	支援員
3. 11. 22	感染症予防対策委員会 事故防止委員会	委員 8 名
3. 11. 25～	全国老人福祉施設大会	生活相談員
3. 11. 29	事故防止研修：マニュアルの再確認, 上半期の報告	職員 7 名
3. 12. 16	養護老人ホーム職員研修困難事例検討会	支援員
3. 12. 21	感染症予防対策委員会 身体的拘束適正化検討委員会	委員 8 名
3. 12. 23	感染症予防研修：施設内衛生管理について	職員 8 名
4. 1. 27	感染症予防対策委員会	委員 6 名
4. 2. 16	感染症予防対策委員会	委員 8 名
4. 2. 24	個人情報保護について 虐待防止研修：マニュアル再確認	職員 9 名
4. 3. 10	養護老人ホーム職員研修困難事例検討会	支援員
4. 3. 24	感染症予防対策委員会 身体的拘束適正化検討委員会	委員 8 名
4. 3. 28	身体的拘束研修：施設内の現状と内容の再確認	職員 10 名

令和4年3月31日

入所者状況報告

養護老人ホーム 光珠荘

1. 出身市町村別状況

市区町村名	男 性	女 性	計
笛 吹 市	8	4	1 2
甲 州 市	3	3	6
東京都江東区	2	4	6
富士河口湖町	2	0	2
山 梨 市	1	1	2
南アルプス市	2	0	2
甲 斐 市	0	2	2
中 央 市	0	2	2
東京都墨田区	1	1	2
甲 府 市	0	1	1
上 野 原 市	1	0	1
西 桂 町	1	0	1
計	2 1	1 8	3 9

2. 年齢分布表

	男 性	女 性	計
6 5 ～ 6 9 歳	2	0	2
7 0 ～ 7 4 歳	7	2	9
7 5 ～ 7 9 歳	6	4	1 0
8 0 ～ 8 4 歳	2	6	8

85～89歳	2	4	6
90～94歳	2	1	3
95歳	0	1	1
計	21	18	39
平均年齢	77歳11か月	82歳2か月	79歳10か月

	最高年齢	最低年齢
男 性	91歳	67歳
女 性	95歳	72歳

3. 在所期間状況

	男 性	女 性	計
1年未満	1	2	3
1年～5年未満	11	4	15
5年～10年未満	4	4	8
10年～15年未満	3	5	8
15年～20年未満	1	1	2
20年以上	1	2	3
計	21	18	39
平均在所期間	6年10か月	8年7か月	7年8か月

最 長 期 間	男 性	女 性
	22年	21年3か月

4. 日常生活動作の状況

区 分				男性	女性	計	比率
歩行	自立			14	5	19	56%
	杖等歩行補助器使用			3	5	8	23%
	車いす使用			2	5	7	21%
食事	自立			19	14	33	97%
	一部介助			0	1	1	3%
	全介助			0	0	0	0%
入浴	自立			15	10	25	74%
	一部介助			4	4	8	23%
	全介助			0	1	1	3%
更衣	自立			15	10	25	74%
	一部介助			4	4	8	23%
	全介助			0	1	1	3%
排泄	昼間 (5～22時)	トイレ	自立	17	8	25	74%
			車いす使用	2	4	6	17%
		ポータブル	自立	0	1	1	3%
			介助	0	0	0	0%
		おむつ使用			0	2	2
	夜間 (22～5時)	トイレ	自立	14	6	20	59%
			車いす使用	1	0	1	3%
		ポータブル	自立	2	5	7	21%
			介助	0	0	0	0%
		おむつ使用			2	4	6
認知症数				5	6	11	32%
褥瘡のある人数				0	1	1	3%

*入院中5名除く。

5. 入退所一覧

入 所		退 所	
年月日	措置機関名	年月日	措置機関名
3. 1 1. 8	笛吹市	3. 4. 1 6	山梨市
4. 3. 1	笛吹市	3. 6. 2 1	江東区
4. 3. 3	中央市	3. 8. 4	富士河口湖町
		3. 1 0. 3 0	山梨市
		3. 1 1. 3 0	江東区
計	3名	計	5名